

豊松協働支援センターだより・結び

春分の日

笑顔で喜らせる 持続可能な地域づくり

令和7年3月14日

豊松協働支援

センター発行

第90号



* とよまつむらナウ ③ *

～とよまつの食を支える動く台所「移動販売」～

- ◎名前(ふりがな):小西 慎吾(にし しんご)さん
- ◎会社名(団体名)・肩書:有限会社小西食品 専務取締役
- ◎年齢:62歳
- ◎出身地・現住所:神石高原町下豊松
- ◎職業:食品小売業



☆移動販売を始めたきっかけ

小西食品店は、祖父の時代から72年続く老舗の食品店で、その三代目として生まれた小西さんは高校を卒業まではお店を継ぐ気はなかったと言う。ただ、地域に根付き愛される父親の姿をみて継承を決めてから早や44年が経ったと振り返る。人口減少と急速な高齢化により、店舗だけの売上確保は難しいことと店舗に来られないお客様のために「移動販売」を開始したのは12年前。現在は、月・火・木・金の週4日で神石高原町内を回り移動販売を行っている。

☆食品小売業・移動販売の苦勞

市場に行き買い付けを行う月・火・木・金は、深夜2時には起床し福山へ向かうという生活が続いている。仕入れから帰るとすぐ鮮魚をさばき、新鮮な内に移動販売を開始する。「もう慣れた」とは言うものの、睡眠時間は4時間とかなりハードなスケジュールで年齢的にもキツイ日もあるという。現在、町内で移動販売を行っている事業者は3社で他社との競争とまではいかないとしても、お客様の件数も年々少なくなってきたので売り上げにも影響がある。今後5年くらいは良いとしても、それ以降はさらに進むであろう人口減少と自身の体力との兼ね合いでどう変化するか不安要素は多いにある。

☆豊松への想い

長年愛され続けた小西食品店で、美味しい魚を提供することは使命であると考えている。「海がないこの中山間地域の皆様に、鮮度の良い魚を食べたい。そして皆様の食卓に美味しい魚料理が並べば私も嬉しい。」と語る。わざわざ福山に出なくても、豊松で鮮魚が手に入ることを少しでも楽しみにそして喜んでいただけるお客様がいらっしゃる限り、移動販売を続けていきたいと思う。今後とも小西食品店をどうぞよろしく願いいたします。(TEL:0847-84-2012)

♪クローズアップ 縁③♪

- ♪名前(ふりがな):徳重知子(とくしげともこ)
- ♪会社名(団体名)・肩書:神石高原町立豊松小学校・校長
- ♪出身地:広島県豊田郡大崎上島町
- ♪現住所:広島県世羅郡世羅町
- ♪職業:教員



※先生を目指すきっかけ

小学生の時、友だちに算数を教える機会があり、教えた友だちが喜んでくれた事が嬉しく、算数の先生になると決意。その気持はずっと絶えることなく、大学時代に小学校と中高の数学の免許を取得して卒業後、小学校の教員となった。

※豊松小学校とご縁

教員人生のスタートは、実家から近い豊浜町の豊島小学校(現呉市)だった。結婚を機に、世羅町に移住した事で、神石高原町とのご縁ができた。豊松小学校で9校目の赴任先となる。世羅町の住まいから車で56分。通勤は苦にならない、四季折々の花木を眺めながらドライブを楽しんでいる。

※豊松への想い

前校長先生から、「豊松は本当に良いところよ!」と聞いていたので、豊松小学校への赴任が決まった時は嬉しかったのを覚えている。実際に来てみると、「豊サポ」活動を始め、地域の皆さんがとても温かく、そして優しく子ども達を見守っていただいている事を実感できた。中でも、コロナ禍で地域との交流が遮断された時期に行われた「あいさつ運動」では、30名近い地域の皆さんが参加していただき、子ども達に声をかけてくださった事には衝撃を受けた。こんなに子ども達を応援していただけた地域は他にないし、良い伝統を継続していただいている事に感謝しかない。

子ども達が「やりたい!」と思ったら、すぐに動いていただける環境があり、子ども達も「豊松は良いところ」で、「ありがたい」と思って育ってくれている。

※児童たちへの想い

本当に素直で可愛い児童ばかりで、「やりたい・やってみたい欲」がある上、先生方が考えられた取り組みに関しても前向きで、なによりも楽しむ力を持っている。16名という小さなコミュニティで育てている子ども達には、どんどん友だちや仲間、地域の皆さんと交流を重ねてもらい、委縮する事なく自分の意見を素直に言える大人になって欲しいと思って指導している。

※今後の目標

「先生になる」という夢は達成したが、「算数を上手に教えたい!」という目標はまだ達成できていない。「算数がよくわかった!」「算数大好き!」という言葉が聞けるまで、「算数の教え方」を突き詰めて体力の続く限り精進していきたい。そのために、大好きなビールも節制し、マラソン大会に参加するなど日々体力づくりを欠かさず、健康に気を付けている。生涯現役を目指して、これからもずっと先生であり続けたい。

そして、私の息子を育て支えていただいた地元の皆さんや教え子を育て支えていただいた各地域の皆さんに生涯をかけてご恩返しをしていきたい。最後に豊松小学校に関わっていただいている皆様、本当にいつもありがとうございます。これからも何卒よろしく願い申し上げます。



千羽鶴のご協力ありがとうございます

12月に回覧をお願いしています千羽鶴並びに折鶴の件につきまして、たくさんの方々のご協力をくださった感謝申し上げます。地域の皆様の温かい気持ちを結集した千羽鶴を8月には平和を願う「原爆の子の像」に献呈したいと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いたします。



#保育所に鬼が来たぞ〜#

赤鬼と青鬼が一日遅れでやって来ました。鬼さんに聞いたところ「大雪じゃけすこつんこりりして来られなかった!」「車が埋まっから動けなかったよ!」との事で(2月3日)





☆豊松の如目(2月)の風景☆
 2月の初旬に近年には珍しく30cm越えの大雪に見舞われ大人は雪掻きで憂鬱になる中子ども達はソリ・スノーシューに大はしゃぎで走り回っていました。そしてあちらこちらで雪の芸術作品が出来上がっていました。そして上豊松自治振興会は春を告げるお雛様が展示してあります。



豊松にはステキなアーティストの方がたくさんおられます。雪が解けなければ良いのですが……！！とばかりは言っておれません。早く春が来てほしいですね。



＊手作り味噌体験教室＊

2月1日に上豊松の寺谷集会所において手作り味噌体験をしました。寒風の中で麹・塩・大豆(煮大豆)を混ぜ合わせたり、ミンチ機にかけたり、桶につめたりと井上さんご夫婦のご指導で手際よく作ることが出来ました。今はそれぞれの家庭に持ち帰り一年間ゆっくりと寝かせています。出来上がりが楽しみです。



☆マナー教室☆
 2月のマナー教室はこよまつ保育所の幼児組と先生方や保護者の方へ口頭から頑張っているお点前を少し緊張しましたが披露する事が出来ました。(2月8日)

♡お菓子作り教室♡

今回の教室では「アーモンドクッキー」にチャレンジしました。手作りのクッキーをパレインタインデーに贈りましょう。(2月10日)



＊男の料理教室＊
 2月4日の献立は
 ・握り寿司
 ・鶏のから揚げ
 ・かす汁
 でした。やる気満々の参加者の方たちは、鶏肉や野菜をカットしたりしずし飯を作ったり、特に握りずしとそれぞれ挑戦してみました。握った握りずしは自分で食べました。
 美味しかったかな？



●申込み・問い合わせ● 720-1704 広島県神石郡神石高原町下豊松741番地

豊松協働支援センター 【電話 0847(84)2226】



「祝賀を
 お願いします。」